

第四條 本會ハ會員ノ向上、親和、救済ニ努メ、會員ヲシテ後進ノ憂ナク職ヲ執ルヲ得セシメ、其能率ヲ十分ニ發揮シテ帝國海運ノ隆盛ヲ圖ルヲ目的トス

第五條 會員ヲ分チテ左ノ三種トス
A 會員 B 會員 C 會員
A 會員ハ日本郵船株式會社甲板部機關部專屬員ニシテ日本郵船會社船員保護會給與規則ニヨリ甲ナル屬員
B 會員ハ 同乙ナル屬員
C 會員ハ 同丙ナル屬員
ヲ言フ

第六條 本會ハ左ノ役員ヲ置キ會務ヲ行フ
會長一名 會務ヲ總理ス
但シ當分ノ間名譽會長ヲ置キ會長ニ代リテ會務ヲ總理ス
評議員九十名以内 重要ノ會務ヲ評議ス
專任常務員四名(甲板部各二名宛トシ其ノ各一名宛ヲ横濱神戸ニ置ク) 常務ヲ處理ス
常務員若干名(豫備中ノ評議員) 專任常務ヲ補佐ス
專任書記一名

第七條 會長ハ評議員ノ投票ニ依リ選舉ス其任期ハ二ケ年トス
第八條 評議員ハ總會ニ於テ甲板部機關部各同數ヲ選出ス其制當左ノ如シ
部名 A B C
甲板部 一五、一五、一五、
機關部 一五、一五、一五、
其任期ハ二ケ年トシ毎年半數宛改選スルモノトス
但シ當分ノ間B級、C級評議員ハ會長之ヲ指名シ總會ニ諮リテ決定ス
評議員ニ缺員ヲ生ジタルトキハ次點者ヲ以テ充當シ其ノ任期ハ前任者ノ殘期間トス

A 會員年額參圓 B 會員年額貳圓 C 會員年額壹圓
但シ其ノ納入ハ一月一日七月一日年二回(前期一月一日ヨリ六月三十日迄ノ半年間後期七月一日ヨリ十二月三十一日迄ノ半年間ニ分チテ前納スルモノトス)
第十一章 決 算
第十五條 本會ハ毎年三月三十一日及九月三十日ノ二期ニ於テ決算ヲ行ヒ願問ノ檢閱ヲ受ケ一般會員ニ報告ス

第十六條 本會ノ積立金ハ成規ノ手續ヲ經テ確實ナル銀行ニ預ケ入レ利殖ヲ計リ願問ニ其保管ヲ委託ス
但シ收支ノ場合ハ常務委員全部ノ調印ヲ要ス

第十七條 本會ハ必要ニ應ジ會報ヲ發行シ會員ノ動靜其他ノ事項ヲ報告スルコトアルヘシ
第十八條 本會ハ會ノ目的ヲ達スル爲メ見學、講話、茶話會等ヲ催スコトアルヘシ
本會ハ積立金ヲ以テ追テ規定スル方法ニ據リ救済其ノ他ノ事業ヲ行フ

第十九條 會員ニシテ郵船會社甲板部、機關部專屬員ヲ罷メタルトキハ會員タル資格ヲ失フモノトス
會員ニシテ不都合ノ行爲アリタルトキハ評議員會ノ決議ヲ經テ退會セシムルコトアルヘシ
退會會員ニ對シテ既納ノ會費ハ還付セザルモノトス

第二十條 會長ハ評議員會ニ附スベキ事項ニシテ緊急施行ヲ要スルモノト認メタルトキハ常務委員ノ全贊同ヲ得テ決行シ事後承認ヲ求ムルコトヲ得

第二十一條 會長ハ評議員會ニ附スベキ事項ニシテ緊急施行ヲ要スルモノト認メタルトキハ常務委員ノ全贊同ヲ得テ決行シ事後承認ヲ求ムルコトヲ得

第二十二條 會長ハ評議員會ニ附スベキ事項ニシテ緊急施行ヲ要スルモノト認メタルトキハ常務委員ノ全贊同ヲ得テ決行シ事後承認ヲ求ムルコトヲ得

第二十三條 會長ハ評議員會ニ附スベキ事項ニシテ緊急施行ヲ要スルモノト認メタルトキハ常務委員ノ全贊同ヲ得テ決行シ事後承認ヲ求ムルコトヲ得

第二十四條 會長ハ評議員會ニ附スベキ事項ニシテ緊急施行ヲ要スルモノト認メタルトキハ常務委員ノ全贊同ヲ得テ決行シ事後承認ヲ求ムルコトヲ得

Handwritten notes at the top of the right page, including dates and names.

Handwritten numbers and symbols in the top left of the left page.



Handwritten vertical text in the center of the left page.

Handwritten vertical text at the bottom center of the left page.

Table with multiple columns containing handwritten entries, possibly a list of members or financial records.

財團 協 會